

決議内容まとめ

委員名	議案 1	意見内容	議案 2	意見内容
齋藤 巡友	承認します		承認します	
狭間 恵三子	承認します		承認します	今後、具体的な施策を展開していく中で、和泉市の強み・地域資源を十分にいかし、新しい魅力を創造する商工振興・来訪促進につながることを願っています。
早川 貞子	承認します	約30年後の将来像をビジョンとして方向性を示し、状況にあった短期の計画、実施と進めていくことが肝要と考え、議案 1 について承認します。	承認します	現状分析から市の特徴を活かしたビジョン骨子ができたのではないのでしょうか。今後は、これを土台とした素案づくりの作成を進めていただければと思います。
樹元 政明	承認します		承認します	
橋本 隆次	承認します		承認します	
岡室 養子	承認します		承認します	
日野 弘貴	承認します		承認します	
杉野 清美	承認します		承認します	
井阪 浩明	承認します		承認します	
藤田 光貴	承認します	本計画については、最長 3 0 年後を示すものであるため、方向性を示すビジョンのほうに適していると考える。	承認します	「4. 横断的施策の現状と課題」において、「（1）商工振興と来訪促進の連携状況」の内容から、「（2）ふるさと納税を通じた関係人口創出」「（3）ふるさと納税による関係人口へのアプローチ」へのつながりに唐突感がある。また、（2）と（3）のタイトルも重複感がある表記になっている。
神谷 雅之	承認します	留意点については、下記の通りです。 ① 相当な長期計画となることから、その間の社会環境や技術的な変化を予測することはかなり難しく、将来像は抽象的なものとならざるを得ず、また、施策の方向性もあいまいなものとなる可能性があります。 ② 従来の施策の主な対象としていた製造業や商業だけでなく、農業やサービス業(医療・福祉・教育など)のウエイトが高くなる可能性があります。また、労働施策や環境、都市整備などの分野との連携の必要性もより高まるでしょう。そのため、市トータルでどのような取り組みができるかを示す必要性が出てきます。 ③ 計画期間内での適宜の見直しが不可欠となります。特に、具体的施策については頻繁な記述の見直しが必要となりますので、一つの章とするなど、計画上の扱いを事前に検討しておくべきでしょう。	承認します	